

令和4年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	R04年度	R05年度	R06年度
活動指標	HP・広報誌への掲載件数 合併処理浄化槽の周知及び維持管理の徹底について	件	目標 実績	2.00 1.00	1.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	50.00 48.00	50.00 0.00
成果指標	設置補助基数 合併処理浄化槽の設置者に対する補助	基	目標 実績 目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00
			目標 実績	0.00 0.00	0.00 0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	公共排水域の水質保全の観点から必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	法的な問題もあるため、行政が行う事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の実施方法が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	現状での問題はないが、今後台帳整備や法廷検査受験指導等を強化する場合には人員増が必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	単独処理浄化槽や汲み取りから合併処理浄化槽に変えることで、公共用水域の水質は向上している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	申請数が概ね目標に近い数値で推移している。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

市内の公共用水域の水質向上を図るため、市民の方に事業の周知をする必要がある。

対応策提言等	この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか
	合併処理浄化槽の周知及び維持管理の徹底を市ホームページや広報紙を利用して周知する。
	また、補助対象地域内においての補助制度の活用促進についても併せて周知する。
	なお、単独処理浄化槽の転換については、下水道課と話し合う機会を設け、今後は連携を図っていく必要がある。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的な内容
引き続き、広報紙等を使って周知を行う。国県の補助事業であることから、国の動向、方針を理解し、利用者に対する制度説明も明確にする。また、単独処理浄化槽の転換については、下水道課と話し合う機会を設け、連携しながら推進する。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革ながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり